

第21回症例検討会 研修会報告

日 時	2025年8月3日(日) 10:00～12:30
開催方法	Zoomミーティングを利用したオンライン開催 (ブレイクアウトルームによるグループワーク)
テ ー マ	SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による症例検討 症例検討会初心者でも大丈夫！ 【枠】で考える患者情報整理と議論進行
講 師	幸生堂薬局 管理薬剤師 宮武 真也 先生
受講者数	15名(内、本学学生7名)
認定単位	1.5単位

【研修風景】

当日は講師、ファシリテーター及びエクステションセンター教職員がZoom本部(本学A棟1階レセプションルーム)に集結して研修会を運営いたしました。



【内 容】

本日の内容

蟻の目で考える処方監査・服薬指導

- ・ 例題解説
- ・ 症例① ディスカッション（15分）→発表→解説

鳥の目で考える多職種 事例検討(介護職メインの検討会議)

- ・ 症例② ディスカッション1（5分）→発表→解説
- ・ 症例② ディスカッション2（10分）→発表→解説



講 師
幸生堂薬局
管理薬剤師
宮武 真也 先生



ファシリテーター
まこと薬局
黒田 泰司 先生



ファシリテーター
神戸市立医療センター
中央市民病院 薬剤部
吉野 新太郎 先生



ホスト
神戸薬科大学
エクステンションセンター 講師
鎌尾 まや 先生

アンケート(抜粋)

- ◆自分以外の多くの薬剤師の御意見を聞くことができ、今後の業務の参考にしていこうと思いました。
- ◆非常に良かったと思います。演題については、自分なりに繰り返し実行することが肝要かと思われました。
それ以外の部分で目から鱗が落ちたのは「クローズドクエスチョンは、必ずしも悪いものではない」と言う部分でした。現在調剤薬局ではAI薬歴システムの導入が進んでおり、これによって薬歴記入にかかる時間の短縮を図るというもののなのですが、クローズドクエスチョンが非常によく合うのです。これを「店を回すための拝金的な考え方」と捉えていたのですが、話が必要である患者さんとそうではない方を選別することで、双方のためになりそうだと考え方を改めました。
本日はありがとうございました。
- ◆与えられた患者情報を「粹」を意識して問題提起する方法を学んだ。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



神戸薬科大学
Kobe Pharmaceutical University



神戸薬科大学
エクステンションセンター